

行政事業レビュー 秋の公開プロセス（2020）

子供の貧困問題に関する検討……効果は？

内閣府 子どもの貧困対策会議 → 対策の総合的・計画的推進

厚労省 ひとり親家庭の自立支援（相談・就業・給付・貸付）

母子・父子自立支援員の配置

文科省 教育費負担の軽減……幼保無償化、高校就学支援

スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置

問題としてのプル型行政

典型＝申請主義

支援内容を知っている・行政の窓口に出向く・必要な書類を添えて申請する

現実には……

知らない 広報不足、複雑・多量のメニュー、理解力不足

行けない 多忙、平日昼間が無理、移動力不足

書けない 複雑、書類を揃える負担、対応力不足

解決提案としてのプッシュ型行政……データ利活用

支援の必要な対象者を行政が積極的に探知する

必要なサービスを自動的に提供する

弱者支援だけでなく……証明書などの期限切れ対策（実現例：運転免許証）

例：大阪府箕面市における要支援児童の探索

市長部局 世帯の収入、福祉受給状況など

教育委員会 児童の成績・身体検査データなど

想定を逸脱するデータ（体重の急減、成績の急低下など）→ 家庭状況の推測

要支援状態にある可能性がある児童をリストアップ

2017年後半の判定

判定I（重点支援）477人のうち212人（44%）は学校で見守り対象として認識されず

56%はすでに現場の経験で見抜けていたというのも事実

44%には実際には問題のない事例が含まれている可能性がある

データによる探索と現場の知恵のすりあわせが重要

課題としてのデータ連携

箕面市の事例……個人情報保護条例改正

市長部局と教育委員会……個人情報保護法上は別組織 → 第三者提供の正当化が必要

本人の利益・緊急の必要性……現場は保守的だったので明文化

タテ連携の限界……進学で府立高校に → 府条例の管轄

ヨコ連携の限界……空間的な移動で別自治体に

すべての自治体は同じ情報を同じように取得しているか？

データ分析の急所

完備されたデータセットからの分析……計算量

データマイニング 相関のある属性の発見
プロファイリング ある属性から別の属性を推定

問題……汚いデータ

カテゴリーの閾値が異なる／欠測値がある
同一のものの表現が異なる (eg. 龍ヶ崎市／龍ヶ崎市)

行政のデジタル化からの要請

データの取り方・保存方法・処理方法の統一 → データの連携可能性を保障

個人情報保護法改正 = (原則) 統一化 (2021)

自治体情報システム標準化 (2021)

手動提供から自動連携へ

新型コロナウイルス対策特例給付金問題 (2020)

「地方自治の本旨」との関係? ……eg. 個人情報保護法統一に対する日弁連意見書

調査例……海外の日本人学校に派遣された教師本人のキャリアに対する影響

都道府県教委経由で市町村教委経由で各学校に問い合わせ

偏頗な回答結果……完全に無回答、一部が無回答、明らかに数が少ない

小さいことは良いことか

「良い」とは何を意味しているのか

データに基づくパフォーマンスの比較……データの統一的処理なしには実現不能
分散により「当事者化」することを通じて良い決定がなされるという想定

見通し距離……地方自治は民主主義の学校 (トクヴィル)

本当に?

個人が合理的であればプッシュ型行政は不要

不合理な個人の行動を集計したものは合理的か?

「良い」の複数の意味 → 統一と分散のバランス

医療費が高いが寿命も長い／医療費は安く寿命も短い

どちらが「良い」かは客観的に決まらない……自治に基づく自己決定が必要

バランスの相違と変容

適切な決定・執行の規模は問題領域によって異なるのでは

人的保健 (母子・老人) 住民に近く顔が見える基礎自治体

物的保健 (衛生・感染症) 専門性が確保できる広域自治体

一部事務組合・連携協約など当事者が広域化を選択する場合も

問題状況による変化の可能性……典型としての新型コロナウイルス対策

規制権限……都道府県知事

情報 ……保健所設置者 = 都道府県・政令市・中核市・特別区・一部の市

統一すれば解決するか

地方分権改革・独立行政法人化は間違いだったという意見も

政府の統一方針が遵守されない

決定事項を現実化する手足がない

「何が正しいか」わかっていたのか？

正体のわからない敵……対応の模索

主体が複数あったので PDCA サイクルが早く回った可能性

本当に？……統計の不統一が阻害（eg. 重症者の定義（東京都独自））

提案……what to do と how to do の区別

なにをなすべきか？

個々の価値観が影響、最終的な影響が帰属 → 意思決定の問題

集合的意思決定を地方議会は適切に担い得るか

いかになすべきか？

決定されたことの執行 = 効率性の問題

必要に応じて統一・連携して行なうべき……自治の限界

事案の性質や発生した事態に応じて柔軟に調整できる制度・の基盤構築へ